

ケータイトラブル

— 子どもを犯罪者・被害者にさせない —

子どもがケータイをどんなふうに使っているのか、
全く気にもとめていませんでした・・・

イシイ みんなお前
キライなのはやく
わかれよ
ID: あっぶりん

学校で きやすく
話かけるんじゃないよ
バカイシイ
ID: サーカス団

頼むから 死んで
ください イシイさん
ID: ほたるみず

上映時間 25分

ビデオ 69,300円 (本体66,000円) [C#0629]
DVD 69,300円 (本体66,000円) [C#0630]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>



企画意図

ケータイによる犯罪・事件に子どもが巻き込まれる事案が増えている。子どもがケータイの世界へ無防備、無自覚にふれてしまう、乱用するといった背景には、家庭、学校における人間関係、親子関係のあり方が指摘されている。ケータイの中に犯罪や事件があるのではなく、それを使う人の心が問題。

子どもがケータイトラブルを起して犯罪者・被害者にさせないよう3つの事例で紹介し、親などに問題提起します。

概要

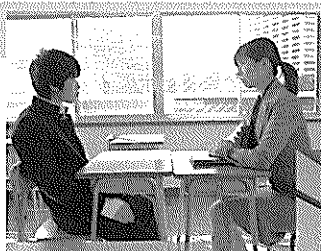
事例1 「掲示板の罠」

美由紀（14）は中学に入学してからずっとクラスになじめなかった。学校を休みがちのため、母の敦子（40）は美由紀を叱責してばかりいる。自分の寂しさをだれにも語れない美由紀はやがて、ケータイの掲示板を不満や愚痴を言える拠り所にするようになり、自分の個人情報も教えてしまった。



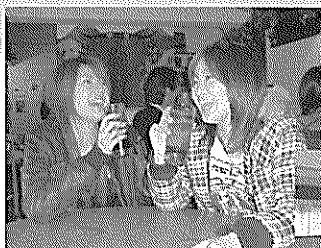
事例2 「学校裏サイトの罠」

聡史（15）が保健室によく出入りしているのを、変わった様子はないかと担任の生山（35）から母、公子（40）に連絡が入る。塾から帰った聡史に聞いただと反発するばかり。父、浩司（45）は、そういう時期だからと心配しすぎる公子をたしなめる。ところが、ある日、聡史は、同級生の雅夫をカッターナイフで切りつけ、怪我をさせてしまう。原因は雅夫が無料掲示板につくった学校裏サイトだった。



事例3 「プロフ（自己紹介サイト）の罠」

綾香（17）は中学の頃から夜遊びや外泊をするようになっていた。母、れい子（45）は仕事に夢中で、携帯を持たせてあるから安心と綾香の非行行動や生活態度の乱れを注意して来なかった。父、守男（50）は、綾香の言動を注意しようとするが、娘とどうふれあっていいかわからない。れい子に自由にさせておくのがいいと言われ、きつく叱ることもできなかった。そして綾香はプロフに下着姿の写真などを公開してしまった。



プロデューサー・・・鎌田幸人 脚本・監督・・・秀嶋賢人

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2009年作品

p.

 東映株式会社 教育映像部

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631

関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026

広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066

福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……